

1. 略歴

1990年3月	東京大学大学院社会学研究科社会学修士課程修了
1995年	東京大学大学院社会学研究科社会学博士課程単位取得退学
1995年	信州大学人文学部人間情報学科文化情報論講座助手
1995年	専修大学文学部社会学科非常勤講師
1996年	富山大学人文学部非常勤講師
1998年	徳島大学総合科学部非常勤講師
1999年	岡山大学文学部行動科学科社会学・文化人類学講座講師
1999年	信州大学人文学部人間情報学科非常勤講師
2000年	筑波大学第一学群社会学類非常勤講師
2001年	岡山大学文学部行動科学科社会学・文化人類学講座助教授
2002年	信州大学人文学部人間情報学科文化情報論講座助教授
2005年	名古屋大学大学院国際多元文化専攻ジェンダー論講座非常勤講師
2006年	東京大学大学院人文社会系研究科社会学専門分野准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

社会問題の社会学
歴史社会学

b 研究課題

セクシュアリティの歴史社会学
少子化社会論
人口減少社会論
社会問題の構築主義アプローチ

c 主要業績

(1) 論文

「言説分析は、社会調査の手法たりえるか」、『社会と調査』、No.3、52-58頁、2009.9

「構築主義を再構築する」米村千代・数土直紀編『社会学を問う』（勁草書房）95-109頁、2012.3

(2) マスコミ

新聞、「異見新言」、朝日新聞、2008.5.10

(3) 研究報告書

「人口減少時代の社会学をめざして」、1-52頁、2009.3

「地域ブランドの手法による地域社会の活性化」、59-62, 293-294頁、2009.3

(4) 会議主催（チェア他）

「関東社会学会テーマ部会『人口減少時代の地域づくり』」、実行委員、首都大学東京、2008.6.21～2008.6.22

「UT-SNU Sociology Joint Forum2008」、主催、東京大学文学部、2008.11.20～2008.11.21

「関東社会学会大会」、実行委員、テーマ部会A、お茶の水女子大学、2009.6.21

(5) 教科書

『社会福祉学学習双書2009 社会学』、編集委員、社会福祉法人 全国社会福祉協議会、2009

(6) 学会発表

Manabu Akagawa, "Can a Foucauldian analysis on sexualities be applied to non-Western societies?"
International Sociological Association WORLD CONGRESS, RC16-18,2010.07.16, University of
Gothenburg.

赤川学『『造化機論』の翻訳者・千葉繁とは誰か』歴史社会学フォーラム自由報告、2012.2.13、華東師範大学、中華人民共和国。

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

熊本大学文学部非常勤講師、2008.12

明治大学情報コミュニケーション学部、「情報コミュニケーション概論」非常勤講師、2011-2012

(2) 学会

国内、日本社会学理論学会、理事（事務局長）、2011.4～2012.4

国内、日本社会学会、編集委員会専門委員、2009～2011